



第43号
大月市子ども情報誌
ゆりっ子

発行/大月市教育委員会社会教育課

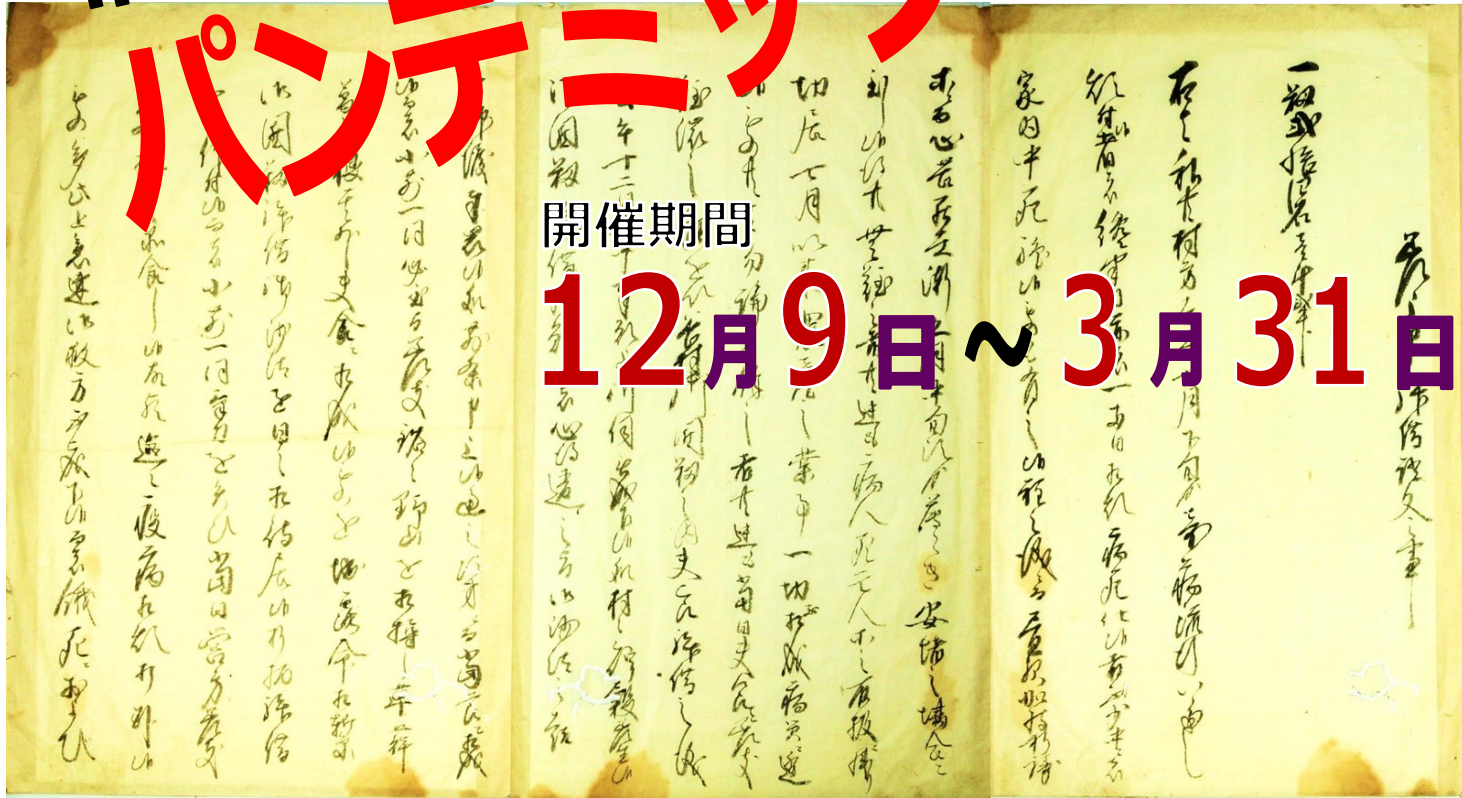
幕末の大月にもあった

パンデミック

特別展

開催期間

12月9日～3月31日



本格的な冬を前にして、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。日本がパンデミック（世界的な大流行）に巻き込まれたのは、今回が初めてではありません。江戸時代（1603～1867年）末期の1858（安政5）年のコレラ病の流行では7月27日から9月23日までのわずか55日間で江戸の死者数が28万人を数えたとの記録も残されています。

・・・では、私たちの住む大月市や郡内地区の状況はどうだったのでしょうか。

このコレラ病流行にかかわる当時の文書（もんじょ）が地域にも残されていました。みなさんも一緒に地方文書（ぢかたもんじょ）から安政コレラに襲われた村の様子を読み解いてみましょう。

■大月市郷土資料館 ☎23-1511 猿橋町猿橋313-2
【入館料】 一般110円（中学生以下は無料）
【休館日】 月曜日、祝日の翌日（月曜日が祝日の場合は開館します）

※年末年始のお休みがあります。詳しくは、広報おつき12月号でご確認ください。

図書館おすすめ児童図書

本を読んで子どもの心を豊かに

本は子ども達の心を豊かにしてくれるものです。本には、色々な世界が広がっていて、ワクワク、ドキドキがいっぱいです。子どもと一緒に、本の中に探しに行きましょう。



「ぼく、ひつじじゃなくてぶたなんだ」
牧場にいるひつじたちの中に、どろの中を転げまわるのが好きで、ブーブーと鳴くひつじがいました。自分らしさを問いかける絵本。
(ミルヤ・ブラーフマン エ
ビム・ラマース ぶん
長山さき やく ほるぷ出版)



「こたつ」
こたつを真上から描くユニークな絵本。家族で新年を迎える喜びを描きます。
(麻生知子 作 福音館書店)



「神様のパッチワーク」
家族のかたちってどんなもの？「特別養子縁組」をテーマに、家族のさまざまなかたちをあたたく描く物語。
(山本悦子 作 佐藤真紀子 絵
ポプラ社)



「江戸の空見師 嵐太郎」
江戸の町に住む空見（天気予報）の得意な少年・嵐太郎のもとに舞い込んだ一世一代のお役目とは…？
(佐和みずえ 作 しまぎきジョゼ 絵 フレーベル館)

「雪山のエンジェル」

感染症で突然両親を亡くしたマケナ。危機が迫るたびにマケナの前に銀色のキツネがあらわれ…。
(ローレン・セントジョン 作 さくまゆみこ 訳 評論社)

「昔のお仕事大図鑑 こんな仕事があったんだ！」

明治・大正時代から昭和時代にかけてさかんだった87の仕事の写真やイラストとともに紹介。
(小泉和子 監修 日本図書センター)

「ずかんウイルス 見ながら学習調べてなっとく」

ウイルスにまつわる多くの疑問を写真やイラストとともにわかりやすく解説。
(武村政春・宮沢孝幸 監修 技術評論社)

「ブラックホールの飼い方」

嫌なものを何でも飲み込んで片づけてくれるブラックホールを飼うことになった少女ステラ。ところが子犬まで飲み込まれてしまったから、さあ大変！
(ミシェル・クエヴァス 作 杉田七重 訳 小学館)

「櫻井寛さんの全国私鉄路線と車両大図鑑

電車でいこう！」
日本全国、北から南まで全国の私鉄165路線を写真とともに徹底紹介。
(櫻井寛 写真・文 世界文化社)

「ゆめぎんこう」

夢のアメを売る不思議なお店に、ある日、夢を取りに来てほしいという依頼が入り…。
(コンドウアキ 著 白泉社)

■大月市立図書館 ☎22-4815 駒橋1-5-1

【休館日】 月曜日、祝日の翌日（月曜日が祝日の場合は開館します）
月末の平日（館内整理日）

※年末年始のお休みがあります。詳しくは、広報おつき12月号でご確認ください。

大月には、100年も動き続ける発電所の施設があるって知ってますか？

大月市と上野原市にまたがってある「八ツ沢発電所施設」は、今から約100年前に造られた、水の力を使って電気を作る発電所です。この「八ツ沢発電所」は、駒橋発電所で使った水と猿橋駅の近くの桂川から水を取って、地面の下を通ったり、川の上を渡ったりして、上野原市大野にある池まで、水を運びます。運ばれた水は、勢いよく下に流されて、その力を使って発電機を回して発電をしています。

そして、この「八ツ沢発電所施設」は、約100年前の施設が今も使われていることや、当時の高い建築技術が使われていることから、国の重要文化財に指定されています。新幹線や電車がいっぱい走っている「東京駅」も同じ重要文化財になっているから、とっても貴重なものって分かりますね。

(大月には、他にも大月町花咲にある「星野家住宅」が重要文化財に指定されています)

「八ツ沢発電所施設」は、今回紹介した以外の各施設も重要文化財に指定されています。

重要文化財ってなに？

日本にある建造物、美術工芸品、考古資料、歴史資料等の有形文化財のうち、歴史上・芸術上の価値の高いもの、または学術的に価値の高いものとして文部科学大臣が指定した文化財を言います。



桂川からの水を取り込む施設です。横の長さは、53.9mで、レンガなどで造られています。この水がはるか遠く上野原市大野にある池まで、橋や地下を流れていきます。



川の水には、砂や泥がまざっているので、それを取り除く役目をしています。ここで、隧道（トンネル）に流す水を綺麗にしています。



猿橋の横から、見る事が出来ます。桂川を渡るため造られました。橋の長さは、42.7mで鉄筋コンクリートで造られています。これが、造られたのはなんと約100年前、すごいですね。



車で通ると見逃してしまうような場所にあります。レンガなどで造られていて、橋の長さは、40.7m、土台の部分は5つのアーチがあります。まじかで見られる水路橋は、迫力満点です。

・総合体育館

注意！！

見に行く時は、必ず保護者の方と一緒に行ってください。国道沿いで歩道が狭い場所や、水の付近になるので、十分に注意してください。